

レジメン登録フォーマット

申請年月日	平成30年11月12日	使用開始日																							
登録診療科	消化器内科・外科	申請医師	岡田一幸 化学療法委員会承認# 平成 30年 12月																						
レジメン名	トラスツズマブ【初回】+SP(アプレビタクトカプセル)																								
疾患名	胃がん	適応の備考	対象:HER2陽性胃がんのみ																						
適応分類	進行再発																								
1コース日数	21 日間	総コース数	コース催吐性リスク高度																						
抗がん剤投与量・投与日	トラスツズマブ8mg/kg day1、シスプラチン60mg/m <sup>2</sup> day1、S-1 80mg~120mg/body 分2 day1-day14																								
治療スケジュール・投与日程(投与日は●)	(day)																								
投与順	ルート・方法	薬剤名	投与量	投与時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
1	主ルート																								
	点滴静注	フィジオ140輸液500mL	2 本 / body	2 時間	●																				
2	主ルート	生食250mL	1 本 / body	90 分	●																				
	点滴静注	トラスツズマブ	8 mg / kg		●																				
	点滴静注	注射用水20mL	1 本 / body		●																				
投与時間(初回投与)90分、(2回目以降)30分可																									
3	主ルート	アロキシ注バッグ0.75mg/50mL	1 本 / body	30 分	●																				
	点滴静注	デキサート注射液6.6mg/2ml	1 本 / body		●																				
	点滴静注	デキサート注射液1.65mg/0.5mL	2 本 / body		●																				
4	主ルート	生食500mL	1 本 / body	2 時間	●																				
	点滴静注	シスプラチン	60 mg / m <sup>2</sup>		●																				
シスプラチンと同量の生食を抜いてから混注する(合計500mLとする)																									
5	主ルート																								
	点滴静注	フィジオ140輸液500mL	2 本 / body	2 時間	●	●	●	●																	
6	経口投与	S-1	9999 mg / body			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●							
		分2 朝夕食後																							
		(体表面積) 1.25m <sup>2</sup> 未満 80mg/day																							
		1.25~1.5m <sup>2</sup> 未満 100mg/day																							
	1.5m <sup>2</sup> 以上 120mg/day																								
7	経口投与	アプレビタクトカプセル	125 mg / body			●																			
		抗がん剤の投与1時間前に服用																							
8	経口投与	アプレビタクトカプセル	80 mg / body			●	●																		
		分1 朝食後																							
9	経口投与	デカドロン錠	8 mg / body			●	●	●	●																
		分2 朝食後																							

※並行して投与する場合は、コメントを入力する。(例:Rp2とRp3を同時に投与開始する。)

【投与上の注意】

このレジメンは、トラスツズマブ初回投与患者に使用する

トラスツズマブの投与量は、初回8mg/kg、2回目以降6mg/kg day1

トラスツズマブ:初回投与時間は90分。初回投与時の忍容性が良好であれば、2回目以降は30分まで短縮できる。

トラスツズマブ:次回以降予定投与が遅れた場合、前回投与日から1週間以内の時は、6mg/kgを投与する。1週間を超えた時は、改めて8mg/kgを投与し、次回以降は6mg/kgを3週間間隔で投与。

シスプラチン:希釈は生食のみ。

シスプラチン:腎毒性軽減のためhydrationが必要。

・day2~5のデカドロン錠は、経口投与が困難な場合は注射薬での投与を検討する。

・day5のデカドロン錠は、状況に応じて投与の可否を選択できる。

アプレビタクトカプセル:各コースにおいて、投与期間は3日間を目安とする。成人で5日間・12歳以上の小児で3日間を超えて投与した際の有効性及び安全性は確立していない。

アプレビタクトカプセル:原則としてコルチコステロイド及び5-HT3受容体拮抗型制吐剤と併用して使用すること。

アプレビタクトカプセル:抗悪性腫瘍剤の投与1時間~1時間30分前に投与し、2回目以降は午前中に投与すること。